

令和7年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

令和6年12月24日現在

部門	事業番号		事業名	ページ	備考(担当部)
森林部門	1	環境保全林整備事業		1	林政部
	2	里山林整備事業	①－1危険木の除去	2	
			①－2ライフライン保全対策	3	危機管理部
			②バッファークーンの整備	4	林政部
	3	脱炭素社会に貢献する森林づくり事業	①被害森林等での早生樹等の植栽等	5	
			②森林吸収源対策	6	
	4	教育福祉関連施設木造化・木質化等促進事業	①木造化、内装木質化	7	
			②木製品の導入	8	
	5	木質バイオマス利用促進事業	①木質バイオマス利用施設の導入	9	
			②未利用材の搬出	10	
	6	ぎふ木育推進事業	①－1ぎふ木遊館の管理・運営	11	
			①－2ぎふ木育の全県展開の推進	12	
			②ぎふの木を使った教材の導入	13	
			③森や木、川に関する環境教育やぎふ木育教室の開催等	14	
	7	森林空間活用促進事業	①観光道路周辺の観光景観林の整備	15	
			②森林空間の活用を図るための施設の設置・改修	16	
			③森林空間を活用した活動の普及促進	17	
環境部門	8	野生鳥獣個体数管理事業	①ニホンジカの個体数管理を目的とした捕獲等	18	農政部
			②ニホンザルの個体数管理を目的とした捕獲	19	
			③カワウ、カワアイサ及びサギ類の個体数管理を目的とした捕獲	20	
			④大学等と連携して行う野生動物管理に関する調査研究等	21	環境生活部
	9	自然生態系保全・再生事業	①上下流域が連携した河川清掃活動の実施	22	県土整備部
			②河川魚道の改修及び適切な維持管理	23	
			③水田魚道の設置等による水みちの連続性確保及び効果検証	24	農政部
			④生物多様性の保全・再生の普及啓発	25	環境生活部
			⑤生態系保全・再生に係る活動支援	26	環境生活部・農政部
	10	脱炭素社会ぎふづくり事業	①脱炭素社会ぎふを支える人づくり	27	環境生活部・農政部
			②地域循環共生圏構想の促進	28	環境生活部
共通部門	11	清流の国ぎふ地域活動促進事業		29	林政部・環境生活部

事業評価の考え方について

審議会のご意見を踏まえ第2期より、自己評価については、事業実績(事業量、事業費)の進捗率に基づき、評価を実施しています。

評価項目の進捗率	自己評価
90%以上	高く評価できる
70%以上、90%未満	概ね評価できる
50%以上、70%未満	あまり評価できない
50%未満	評価できない

令和7年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	森林経営課・整備係

1 事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	森林部門					
	事業名	1 環境保全林整備事業					
	事業概要	「環境保全林」における間伐等の助成					
	事業開始年度	平成24年度					
② 事業目的	・森林所有者による森林整備の実施が困難な水源地域や渓流域、急傾斜地等の森林における公益的機能の維持向上のため、各種団体等が行う間伐等に対して支援を行う。 ・環境保全林内の人の生活圏に近い里山林エリアにおいて、公益的機能向上とあわせて地域住民の生活環境の保全のため、不要木除去等に対して支援を行う。						
③ 事業内容	○環境保全林整備事業費補助金 市町村森林整備計画で環境保全林に区分された水源林、溪畔林等において間伐を実施。 ・補助先：市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、森林整備法人、林業事業体、特定非営利活動法人等 ・補助率：10／10（県の定める標準事業費が上限、関連条件整備38千円／ha）						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
④ 目標	計画	(人工林の間伐等) 10,500 ha	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
	実績	4,846 ha	1,596	1,462	1,788		
⑤ 事業費	事業費（千円）		475,555	464,747	544,284	550,000	
	内訳	森林・環境税	475,555	464,747	544,284	550,000	
		（うち前年度繰越分）	128,377	122,018	200,630	0	
		他（国庫補助金等）	0	0	0	0	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額	548,710千円		☐ 妥当である ☐ 概ね妥当である ☐ あまり妥当でない ☐ 妥当でない		
		考え方	事業全体のコスト(翌年度繰越分を除く)					
		指標名						
		考え方						
	Ⅱ 事業結果	指標名	整備面積	2,100ha		☐ 成果が高い ☐ 概ね成果が高い ☐ あまり成果がない ☐ 成果がない		
		考え方	森林の公益的機能が回復した面積					
		指標名						
		考え方						

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ○林野公共事業における事前評価マニュアルに基づき、洪水防止便益、水質浄化便益、流域貯水便益、土砂流出防止便益等について費用便益分析(B/C)を行う。 ○事業実施前後と実施3年後及び5年後の森林の状況の変化を確認(箇所を抽出して確認) 《モニタリング項目》(ア)林内の光環境、(イ)林床の被覆状況、(ウ)土壌の状況、(エ)生物多様性 ・施業前 :事業実施主体が、(ア)、(イ)、(ウ)、(エ)を調査 ・施業後 :事業実施主体が、(ア)を再度調査 ・完了確認時 :農林事務所等が、(ア)、(イ)、(ウ)、(エ)を調査 ((イ)、(ウ)、(エ)は、書類内容等の確認) ・3年後及び5年後 :県が、(ア)、(イ)、(ウ)、(エ)を調査	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度

清流の国ぎふ森林・環境基金事業

評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	森林活用推進課・森林活用係

1

事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	森林部門					
	事業名	2 里山林整備事業(①-1危険木の除去)					
	事業概要	「生活保全林」等内の地域住民の生活に支障をきたす危険木の除去					
事業開始年度	平成26年度						
② 事業目的	・人命に関わる可能性の高い保全対象(民家等)への、倒木の恐れがある樹木を除去することにより、地域住民の生活環境の保全を図る。						
③ 事業内容	○里山林整備事業費補助金 【危険木の除去タイプ】 ・対象森林:生活保全林 ・補助率等:必要経費積上げ額以内の額 (共通仮設費、間接費は国が定める率以内とする。) 【森林地域外危険木の除去タイプ】 ・事業内容:地域住民から除去の要望が強い森林計画対象外の危険木で市町村が特に必要と認めるもの ・補助率:2/3(上限100万円/箇所) ・事業主体:市町村						
④ 目標		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
	計画	350 箇所	70	70	70	70	70
	実績	163 箇所	76	51	36		
⑤ 事業費	事業費(千円)		142,814	115,013	115,632	115,000	
	内訳	森林・環境税	136,298	110,718	114,654	115,000	
		(うち前年度繰越分)	0	0	0	0	
		他(国庫補助金等)	6,516	4,295	978	0	

2

自己評価

(1)実績検証 (繰越分を除く。)

⑥実績検証	指標区分		指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額		114,680千円		☐	妥当である	
		考え方	事業全体のコスト				☐	概ね妥当である	
		指標名					☐	あまり妥当でない	
		考え方					☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	危険木の除去(森林地域外を除く)箇所数		70箇所		☐	成果が高い	
		考え方	森林内の危険木を除去した箇所数				☐	概ね成果が高い	
		指標名					☐	あまり成果がない	
		考え方					☐	成果がない	

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目:整備後の里山の状況、事業主体や地域住民の評価 ②検証方法:アンケートによる ③検証対象地:抽出箇所(1事業実施箇所につき1団体以上) ④検証頻度:整備後の1回(翌年度5月)	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3

第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度

清流の国ぎふ森林・環境基金事業

評価シート

担当部局名	危機管理部
担当課・係名	防災課・災害対策係

1

事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	森林部門					
	事業名	2里山林整備事業(①-2ライフライン保全対策)					
	事業概要	電線周辺の危険木伐採					
② 事業目的	強風や大雪など自然災害による倒木で停電を引き起こす恐れのある立木等を事前に伐採することで、停電をはじめライフライン被害の防止・軽減及び孤立集落対策を図る。						
③ 事業内容	○岐阜県ライフライン保全対策事業費補助金 ・強風、大雪等による停電及びこれに起因する被害の発生を抑止するため、市町村が行う、電線の周辺に所在する立木を伐採する事業に対して補助金を交付及びライフライン保全対策会議の開催。 ・市町村が電力会社から負担金を徴収しており、総事業費に対する負担割合は、電力会社が2分の1、県・市町村がそれぞれ4分の1を負担。						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
④ 目標	計画	28 箇所				14	14
	実績	0 箇所					
⑤ 事業費	事業費(千円)					120,000	120,000
	内訳	森林・環境税				30,000	30,000
		(うち前年度繰越分)				0	0
		他(国庫補助金等)				90,000	90,000

2

自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額	30,000千円		☐ 妥当である ☐ 概ね妥当である ☐ あまり妥当でない ☐ 妥当でない		
		考え方	事業全体のコスト					
		指標名						
		考え方						
	Ⅱ 事業結果	指標名	電線周辺の危険木伐採の箇所	14箇所		☐ 成果が高い ☐ 概ね成果が高い ☐ あまり成果がない ☐ 成果がない		
		考え方	電線周辺の危険木伐採の箇所数					
		指標名						
考え方								

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有	
	【実施方法等】 ①検証項目: 事業実施後の危険木伐採の状況 ②検証方法: 事業実施主体からの実績報告による ③検証対象地: 事業実施箇所 ④検証頻度: 事業完了後		
	【検証結果】		

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3

第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	森林活用推進課・森林活用係

1 事業概要

①概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	森林部門					
	事業名	2 里山林整備事業(②バッファークーンの整備)					
	事業概要	野生鳥獣等による被害を軽減するためのバッファークーンの整備					
事業開始年度	平成26年度						
②事業目的	・集落、農地周辺等の森林において、人と野生鳥獣の生活域のバッファークーン(緩衝帯)を整備することにより、野生鳥獣による被害の軽減を図る。						
③事業内容	○里山林整備事業費補助金 【バッファークーンの整備】 ・対象森林:生活保全林 ・補助率等:上限700千円/ha						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
	計画	200 箇所	40	40	40	40	40
	実績	119 箇所	44	39	36		
	⑤事業費	事業費(千円)		41,599	56,932	39,227	35,000
内訳		森林・環境税	40,174	44,963	35,000	35,000	
		(うち前年度繰越分)	0	0	0	0	
		他(国庫補助金等)	1,425	11,969	4,227	0	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額	35,000千円		☐	妥当である	
		考え方	事業全体のコスト			☐	概ね妥当である	
		指標名			☐	あまり妥当でない		
		考え方			☐	妥当でない		
	Ⅱ 事業結果	指標名	バッファークーンの整備箇所数	40箇所		☐	成果が高い	
		考え方	バッファークーンを整備した箇所数			☐	概ね成果が高い	
		指標名			☐	あまり成果がない		
		考え方			☐	成果がない		

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目:整備後の里山の状況、事業主体や地域住民の評価 ②検証方法:アンケートによる ③検証対象地:抽出箇所(1事業実施箇所につき1団体以上) ④検証頻度:整備後の1回(翌年度5月)	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	森林経営課・整備係

1 事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	森林部門					
	事業名	3 脱炭素社会に貢献する森林づくり事業（①被害森林等での早生樹等の植栽等）					
	事業概要	被害森林等の再造林への助成					
	事業開始年度	令和4年度					
② 事業目的	・脱炭素社会に貢献するため、環境保全林内の被害森林や天然更新が困難な森林において、早生樹等の植栽を進め、CO ₂ の吸収量を増やすための森林づくりを推進する。						
③ 事業内容	○脱炭素社会に貢献する森づくり事業費補助金 市町村森林整備計画で環境保全林に区分された被害森林や天然更新が困難な森林において、植栽等を実施（人工造林、下刈り、雪起こし、鳥獣防止施設等整） ・補助先 市町村、林業事業体等 ・補助率 定額（県の定める標準事業費） ・市町村森林整備計画に定められた樹種や成長が早い早生樹等が対象						
		5年間の目標値	R4	R5	R6（見込み）	R7	R8
	計画	（植栽等整備） 100 ha	20	20	20	20	20
	実績	68.65 ha	3.76	29.60	35.29		
⑤ 事業費	事業費（千円）		14,340	58,188	69,826	53,273	
	内訳	森林・環境税	14,340	58,188	67,979	53,273	
		（うち前年度繰越分）	0	29,976	21,252	3,273	
		他（国庫補助金等）	0	0	1,847	0	

2 自己評価

(1)実績検証 (繰越分を除く。)

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額	49,850千円		☐	妥当である	
		考え方	事業全体のコスト(翌年度繰越分を除く)			☐	概ね妥当である	
		指標名				☐	あまり妥当でない	
		考え方				☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	整備面積	20ha/年		☐	成果が高い	
		考え方	森林の公益的機能が回復した面積			☐	概ね成果が高い	
		指標名				☐	あまり成果がない	
		考え方				☐	成果がない	

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目: 植栽木の初期生長の確認および生長に伴うCO ₂ 固定量の算定 ②検証方法: 植栽後の生長量(樹高・直径・残存本数・樹種)を確認。それをもとに、将来のCO ₂ 固定量を算定。 ③検証対象地: 環境保全林 ④検証頻度: 1回(植栽5年目の植栽木)	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	森林活用推進課・森林吸収源対策係／森林文化アカデミー・産学官連携係

1 事業概要

①概要等	実施事業年度	令和7年度							
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー							
	部門	森林部門							
	事業名	3 脱炭素社会に貢献する森林づくり事業(②森林吸収源対策)							
	事業概要	森林クレジットを活用した森林吸収源対策の岐阜モデル構築の検討							
②事業目的	事業開始年度	令和4年度							
	・森林吸収によるオフセットクレジットの活用を基本に、森林吸収源対策の岐阜県モデル構築に向けた新たな仕組みを検討する。								
	③事業内容	森林吸収源岐阜県モデル検討会の開催(①) オフセットクレジット評価検証プロジェクト研究会(①) 森林信託の仕組み検討プロジェクト研究会の開催(①) オフセットクレジット評価検証プロジェクト研究会の調査事業 森林吸収源対策普及啓発事業(②)							
			5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8	
		④目標	計画①	(研究会等) 45 回	9	9	9	9	9
			計画②	(説明会等) 5 回	1	1	1	1	1
	実績①		23 回	10	6	7			
	実績②		5 回	1	2	2			
	⑤事業費	事業費(千円)		3,722	3,884	3,200	7,000		
		内訳	森林・環境税	3,722	3,884	3,200	7,000		
			(うち前年度繰越分)	0	0	0	0		
			他(国庫補助金等)	0	0	0	0		

2 自己評価

(1)実績検証 (繰越分を除く。)

⑥実績検証	指標区分		指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	モデル検討会・研究会開催事業費		6,705 千円		☐	妥当である	
		考え方	事業費のコスト				☐	概ね妥当である	
		指標名	普及啓発事業費		295 千円		☐	あまり妥当でない	
		考え方	事業費のコスト				☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	モデル検討会・研究会開催数		9回		☐	成果が高い	
		考え方	開催回数				☐	概ね成果が高い	
		指標名	普及啓発事業開催数		1回		☐	あまり成果がない	
		考え方	開催回数				☐	成果がない	

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ＜オフセットクレジット評価検証プロジェクト研究会の調査事業＞ ①検証項目 リモートセンシング技術を活用した広葉樹資源量の調査検証 ②検証方法 1～3年目：調査、検証 4～5年目：新たなクレジットモデルの構築に向け、調査、検証の結果を活用 ③検証対象地 実施箇所 ④効果の検証頻度 1回(最終年度のみ) ※最終年度以外は事業の実施状況(研究会における検討経過・普及啓発活動の実施状況など)を事業評価審議会において適宜報告する。	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	県産材流通課・消費対策係

1 事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	森林部門					
	事業名	4 教育福祉関連施設木造化・木質化等促進事業(①木造化・内装木質化)					
	事業概要	教育福祉関連施設等の木造化、内装木質化の助成					
	事業開始年度	平成24年度					
② 事業目的	・岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例に基づき、公共施設等における県産材利用をより一層促進するとともに、木材利用や環境保全に対する理解を深めるため、特に啓発効果の高い教育福祉関連施設等の木造化や内装木質化を支援する。						
③ 事業内容	○教育福祉関連施設の木造化・内装木質化 ・補助先:市町村、学校法人、社会福祉法人、医療法人、NPO法人等 ・補助率:木造化 17,000円/㎡以内 木質化 10,000円/㎡以内(ともに上限30,000千円)						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
④ 目標	計画	30 施設	6	6	6	6	6
	実績	11 施設	4	5	2		
⑤ 事業費	事業費(千円)		1,661,423	3,630,585	441,468	2,567,750	
	内訳	森林・環境税	59,826	75,805	16,095	60,000	
		(うち前年度繰越分)	27,676	30,000	11,118	0	
		他(国庫補助金等)	1,601,597	3,554,780	425,373	2,507,750	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分	理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額	59,850千円		☐ 妥当である	
		考え方	事業を実施する団体等への補助金額			☐ 概ね妥当である	
		指標名				☐ あまり妥当でない	
		考え方				☐ 妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	整備施設数	6施設		☐ 成果が高い	
		考え方	県森林づくり基本計画に定める計画値			☐ 概ね成果が高い	
		指標名	県産材使用量	580m ³ /6施設		☐ あまり成果がない	
		考え方	施設の整備で使用される県産材の材積			☐ 成果がない	

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目:利用者の声 ②検証方法:県が行う施設職員へのアンケート調査による ③検証対象地:全ての整備施設 ④検証頻度:施設利用者に1回(翌年度)	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	県産材流通課・消費対策係

1 事業概要

①概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	森林部門					
	事業名	4 教育福祉関連施設木造化・木質化等促進事業(②木製品の導入)					
	事業概要	学校等の机・椅子等の導入の助成					
	事業開始年度	平成24年度					
②事業目的	・岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例に基づき、公共施設等における県産材利用をより一層促進するとともに、木材利用や環境保全に対する理解を深めるため、特に啓発効果の高い教育関連施設等における木製の机、椅子等の木製品導入を支援する。						
③事業内容	①学校等の机・椅子等の導入に対する支援 ・補助先:市町村、学校法人、社会福祉法人等 ・補助率:1／2以内(机イス等については上限18千円／セット) ②常設版木育ひろば設置に対する支援(ぎふの木育教材導入支援事業と併せて利用) ・補助先:市町村、社会福祉法人、NPO法人等 ・補助率:10/10以内(上限400千円)						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
	計画	100 施設	20	20	20	20	20
④目標	実績	68 施設	18	30	20		
	事業費(千円)		27,419	73,324	22,850	104,521	
⑤事業費	内訳	森林・環境税	12,980	33,778	10,684	30,000	
		(うち前年度繰越分)	0	5,020	0	0	
		他(国庫補助金等)	14,439	39,546	12,166	74,521	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分		指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額(千円)		29,945千円		☐	妥当である	
		考え方	木製品を導入する施設等への補助金額				☐	概ね妥当である	
		指標名					☐	あまり妥当でない	
		考え方					☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	導入施設数		20施設		☐	成果が高い	
		考え方					☐	概ね成果が高い	
		指標名					☐	あまり成果がない	
		考え方					☐	成果がない	

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目:利用者の声 ②検証方法:県が行う事業主体へのアンケート調査による ③検証対象地:全ての導入施設 ④検証頻度:施設利用者に1回(翌年度)	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	森林経営課・木質バイオマス産業係

1 事業概要

①概要等	実施事業年度	令和7年度							
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー							
	部門	森林部門							
	事業名	5 木質バイオマス利用促進事業(①木質バイオマス利用施設の導入)							
	事業概要	公共施設等における木質バイオマス利用施設の導入の助成							
事業開始年度	平成24年度								
②事業目的	・森林内に放置された間伐材等の木質バイオマスをエネルギー資源として利用促進することにより、化石燃料から木質燃料への転換を誘導し、2050年カーボンニュートラルの実現による脱炭素社会づくりに寄与するため、公共施設や商業施設等へ木質燃料を利用するボイラーやストーブの導入を支援する。								
	③事業内容	○木質バイオマス利用施設導入促進事業費補助金 ・補助先：市町村、学校法人、社会福祉法人、医療法人、NPO法人、民間事業者（多くの県民の利用が十分見込まれる商業・観光・レジャー事業等を営む者に限る。）その他知事が認めるもの ・補助率：導入経費の1/2以内の額 ・メニュー：①木質資源利用ボイラー（上限額4,000千円／施設） ②木質資源利用ストーブ（上限額500千円／台） ③アドバイザー派遣							
		④目標		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
			計画①	(ボイラー) 5 施設	1	1	1	1	1
			計画②	(ストーブ) 150 台	30	30	30	30	30
			実績①	0 施設	0	0	0		
	実績②		106 台	57	19	30			
	⑤事業費	事業費(千円)		32,678	16,938	29,322	28,000		
		内訳	森林・環境税	15,528	6,922	13,549	15,000		
			(うち前年度繰越分)	0	0	0	0		
		他(国庫補助金等)	17,150	10,016	15,773	13,000			

2 自己評価

(1)実績検証 (繰越分を除く。)

⑥ 実績 検証	指標区分		指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額(木質資源利用ボイラー)		8,455千円		☐	妥当である	
		考え方	事業を実施する団体等への補助金額				☐	概ね妥当である	
		指標名	補助金額(木質資源利用ストーブ)		6,500千円		☐	あまり妥当でない	
		考え方	事業を実施する団体等への補助金額				☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	木質資源利用ボイラー導入施設数		1施設		☐	成果が高い	
		考え方	木質バイオマスの利用を促進する施設				☐	概ね成果が高い	
		指標名	木質資源利用ストーブ導入台数		30台		☐	あまり成果がない	
考え方		木質バイオマスの利用を促進する施設		☐			成果がない		

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有	
	【実施方法等】		
	【検証結果】		

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	県産材流通課・資源活用係

1 事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	森林部門					
	事業名	5 木質バイオマス利用促進事業(②未利用材の搬出)					
	事業概要	市町村と地域住民との協働による未利用材の搬出の助成					
事業開始年度	平成24年度						
② 事業目的	・森林内に放置された間伐材等の木質バイオマスをエネルギー資源として利用促進することにより、化石燃料から木質燃料への転換を誘導し、2050年カーボンニュートラルの実現による脱炭素社会づくりに寄与するため、市町村及び地域住民の協働による森林内に放置された間伐材等の搬出を支援することで木質資源の循環利用を促進する。						
③ 事業内容	○県民協働による未利用材の搬出促進事業費補助金						
	・補助先:市町村(間接補助事業者 地域で組織する協議会, NPO法人, バイオマス加工事業者, 森林組合等林業事業体 など)						
	・補助率:市町村が助成する額の2分の1以内の額(上限額は以下のとおり)						
	・メニュー:①未利用材搬出 (上限額:1.5千円/t)						
	②搬出機械導入 (上限額:750千円/事業)						
④ 目標	③伐採保護衣等導入 (上限額:保護衣13千円/着, 保護帽6千円/個)						
	④研修会費用 (上限額:30千円/回)						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
	計画	22,500 t	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
	実績	11,142 t	4,353	3,446	3,343		
⑤ 事業費	事業費(千円)		26,858	22,241	24,329	26,214	
	内訳	森林・環境税	6,659	5,478	5,209	8,000	
		(うち前年度繰越分)	0	0	0	0	
		他(国庫補助金等)	20,199	16,763	19,120	18,214	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額(未利用材搬出)	8,000千円		☐	妥当である	
		考え方	事業を実施する団体等への補助金額			☐	概ね妥当である	
		指標名			☐	あまり妥当でない		
		考え方			☐	妥当でない		
	Ⅱ 事業結果	指標名	未利用材の搬出量	4,500t		☐	成果が高い	
		考え方	各地域住民組織等により搬出された未利用材の量			☐	概ね成果が高い	
		指標名			☐	あまり成果がない		
考え方			☐		成果がない			

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目:未利用材の搬出に取り組む地域活動組織等の要望等 ②検証方法:県が行う事業主体へのアンケート調査による ③検証対象地:全ての実施箇所 ④検証頻度:実施した翌年度	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	森林活用推進課・木育推進係

1 事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	森林部門					
	事業名	6 ぎふ木育推進事業(①-2ぎふ木育の全県展開の推進)					
	事業概要	「ぎふ木育」を県全体に広く普及するための人材育成及び新たな地域拠点の整備等を行う					
事業開始年度	令和5年度						
② 事業目的	・「ぎふ木育」を県全体に広く普及させるため、全県展開に欠かせない指導者の育成と活用、指導者の活躍の場として必要な既存施設・団体との連携、新たな地域拠点施設の整備等を行う。						
③ 事業内容	○ぎふ木育全県展開の推進 ・ぎふ木育指導者等ネットワークの推進 ・ぎふ木遊館、モリノス、ぎふ木育ひろばの連携強化 ・木育プログラム等の開発支援 ・ぎふ木遊館サテライト施設の整備						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
	④ 目標	計画 (登録者数(累計)) 400 人		250	300	350	400
		実績 299 人		242	299		
	⑤ 事業費	事業費(千円)			18,787	139,956	14,253
内訳		森林・環境税		18,787	62,782	12,587	
		(うち前年度繰越分)		0	59,340	0	
		他(国庫補助金等)		0	77,174	1,666	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分		計画値		実績値		評価区分		理由	
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金		1,000千円		☐	妥当である		
		考え方	ぎふ木育ひろばの活動支援に係る補助金額				☐	概ね妥当である		
		指標名			☐		あまり妥当でない			
		考え方			☐		妥当でない			
	Ⅱ 事業結果	指標名	ぎふ木育サポーター登録者数		350人		☐	成果が高い		
		考え方	ぎふ木育サポーターに登録した人の人数				☐	概ね成果が高い		
		指標名			☐		あまり成果がない			
考え方				☐	成果がない					

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目:参加者数、参加者の声 等 ②検証方法:参加者へのアンケート調査による ③検証対象:ネットワーク交流会、ぎふ木育ひろばでのイベント ④検証頻度:1回(実施年度3月)	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	森林活用推進課・木育推進係

1 事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー
	部門	森林部門
	事業名	6 ぎふ木育推進事業(②ぎふの木を使った教材の導入)
	事業概要	ぎふの木を使った教材(おもちゃ、キット等)の導入の助成
	事業開始年度	平成24年度
② 事業目的	・将来の森林づくりを担う子どもたちに対し、木材利用や環境保全に対する理解を深めるとともに、「ぎふ木育」の取組みを進めるために、特に普及啓発効果の高い教育福祉関連施設等において、直接木を見て触れることのできる木のおもちゃ等や木製品キットの導入に対して支援することを目的とする。	

③ 事業内容	○ぎふの木育教材導入支援事業費補助金 ・木のおもちゃ等の導入経費の1/2以内(上限100千円/施設) ・木製品キットの導入経費の1/2以内(1キット当たり3千円を補助対象経費の上限) ・ぎふ木育教室を実施する場合、木育教材の導入経費の10/10(導入費用が20千円を超える部分は1/2)以内(1キット当たり3千円を補助対象経費の上限) ・ぎふ木育ひろば認定時、木育教材等の導入経費の10/10以内(上限100千円/施設)。地域支援拠点認定時、木育教材等の導入経費の10/10以内(上限200千円/施設)						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
④ 目標	計画	300 施設	60	60	60	60	60
	実績	200 施設	67	72	61		
⑤ 事業費	事業費(千円)		7,008	9,654	8,493	8,000	
	内訳	森林・環境税	3,694	4,833	4,337	4,000	
		(うち前年度繰越分)	0	0	0	0	
		他(国庫補助金等)	3,314	4,821	4,156	4,000	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額	4,000千円		☐	妥当である	
		考え方	木育教材を導入する施設への補助金額			☐	概ね妥当である	
		指標名				☐	あまり妥当でない	
		考え方				☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	導入施設数	60施設		☐	成果が高い	
		考え方	木育教材を導入する施設の数			☐	概ね成果が高い	
		指標名				☐	あまり成果がない	
		考え方				☐	成果がない	

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目:利用者数、利用者の声 等 ②検証方法:県が行う施設職員へのアンケート調査による ③検証対象:全ての導入施設 ④検証頻度:1回(翌年度5月)	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度

清流の国ぎふ森林・環境基金事業

評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	森林活用推進課・緑化推進係・木育推進係

1

事業概要

① 概 要 等	実施事業年度	令和7年度						
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー						
	部門	森林部門						
	事業名	6 ぎふ木育推進事業(③森や木、川に関する環境教育やぎふ木育教室の開催等)						
	事業概要	子どもたち、一般市民を対象とした、森や木や川に関する環境教育						
事業開始年度	平成24年度							
② 事 業 目 的	・子どもたち及び幅広い世代を対象に、ぎふの豊かな自然(森・川・里山など)の持つ様々な公益的機能やそれらの保全に関する正しい知識の提供、森・川・海のつながりを実感するためのフィールドを活かした環境教育、木に触れ合うことを通じて自然に親しむ体験活動などの実施に対し支援し、将来の清流の国ぎふを担う人づくりを推進する。							
③ 事 業 内 容	〈緑と水の子ども会議〉 ・小中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校に対する環境教育の実施支援(講師の派遣、教材の提供、バス代負担等)(①) 〈ぎふ木育教室〉 ・幼稚園・保育園等の子育て関連施設を対象とする森と木に関する体験講座の実施(講師の派遣)(①) 〈市町村企画事業〉 ・市町村が主体となり、幅広い世代を対象として行う独自に企画する事業の活動費の助成(②)							
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8	
	④ 目 標	計画① (緑と水の子ども会議等参加者数) 34,000 人	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	
		計画② (市町村企画件数) 55 件	11	11	11	11	11	
		実績①	14,048 人	7,015	7,033	8,291		
		実績②	18 件	8	10	11		
	⑤ 事 業 費	事業費(千円)		32,866	30,855	39,189	36,000	
		内 訳	森林・環境税	26,031	26,295	33,313	36,000	
			(うち前年度繰越分)	0	0	0	0	
			他(国庫補助金等)	6,835	4,560	5,876	0	

2

自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥ 実績 検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	事業費	16,164千円		☐	妥当である	
		考え方	緑と水の子ども会議及びぎふ木育教室の開催に係る費用			☐	概ね妥当である	
		指標名	補助金額	17,250千円		☐	あまり妥当でない	
		考え方	市町村が企画する事業の補助金額			☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	ぎふ木育の参加者数	6,800人		☐	成果が高い	
		考え方	緑と水の子ども会議及びぎふ木育教室の参加者数			☐	概ね成果が高い	
		指標名	採択件数	11件		☐	あまり成果がない	
		考え方	市町村が独自に企画する事業の件数			☐	成果がない	

(2)実施状況写真

⑦ 実施状況写真	
-------------	--

(3)効果検証

⑧ 効果検証	実施の有無	有	
	【実施方法等】 〈緑と水の子ども会議・ぎふ木育教室〉 ①検証項目: 実施団体等の職員が子供を観察した結果を調査 ②検証方法: 実施報告書による ③検証対象地: 全ての実施施設 ④検証頻度: 1回		
	〈市町村企画事業〉 ①検証項目: 活動参加者数 ②検証方法: 市町村からの実績報告書による ③検証対象地: 全ての採択事業 ④検証頻度: 1回		
⑧ 効果検証	【検証結果】		

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨ 自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3

第三者評価

⑩ 第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度

清流の国ぎふ森林・環境基金事業

評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	森林活用推進課・緑化推進係

1

事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度						
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー						
	部門	森林部門						
	事業名	7 森林空間活用促進事業(①観光道路周辺の観光景観林の整備)						
	事業概要	景観としての価値が高い観光道路等沿いの森林の整備						
	事業開始年度	平成29年度						
② 事業目的	・観光道路等から眺望ができ、景観として価値が高く、観光客を呼び込み、地域活性化等に資することができる森林について、観光景観林として公的関与の高い管理・整備を推進することによって、各地域の優れた森林景観の形成を図る。							
③ 事業内容	観光景観林整備事業費補助金 ・補助先：市町村 ・補助率：不用木の除去(上限220千円／ha)、不用木の除去(伐採処理含む)(上限500千円／ha) 景観形成のための植栽(上限700千円／ha)、伐採木等の搬出(上限 7千円／m3) 【観光景観林総合整備事業のみ】 関連条件整備 38千円／ha上乗せ、整備計画策定(上限 必要経費の範囲) 附帯施設整備 1/2以内(上限10,000千円)							
	④ 目標		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
		計画	500 ha	100	100	100	100	100
	⑤ 事業費	実績	148 ha	60	62	26		
		内訳	事業費(千円)	34,117	26,772	27,101	30,000	
森林・環境税			28,652	24,114	24,331	30,000		
(うち前年度繰越分)			0	0	0	0		
	他(国庫補助金等)	5,465	2,658	2,770	0			

2

自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分				計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額		29,700千円		☐	妥当である	
		考え方	事業全体のコスト				☐	概ね妥当である	
		指標名					☐	あまり妥当でない	
		考え方					☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	整備面積		100ha		☐	成果が高い	
		考え方	森林の公益的機能が改善した面積				☐	概ね成果が高い	
		指標名					☐	あまり成果がない	
考え方				☐			成果がない		

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目：整備後の事業主体や地域住民の声の調査 ②検証方法：アンケートなどによる ③検証対象地：抽出による ④検証頻度：整備後の1回(翌年度5月) ⑤開始時期：令和5年度	
⑧効果検証	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3

第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	森林活用推進課・森林サービス産業推進係

1 事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	森林部門					
	事業名	7 森林空間活用促進事業(②森林空間の活用を図るための施設の設置・改修)					
	事業概要	森林空間の活用を図るための施設の設置・改修					
	事業開始年度	平成24年度(里山林整備事業で実施)					
② 事業目的	・森林公園等の森林空間における新規の施設整備や既存施設の改修を支援し、健康、観光、教育等、森林空間の新たな活用を図る。						
③ 事業内容	○森林空間施設整備促進事業費補助金 【施設整備タイプ】 ・補助上限額:5,000千円/施設(事業の実施は1回/施設限りとする) 【既存施設改修タイプ】 ・補助上限額:3,000千円/施設(事業の実施は1回/施設限りとする)						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
④ 目標	計画	40 施設	8	8	8	8	8
	実績	32 施設	12	10	10		
⑤ 事業費	事業費(千円)		27,612	40,468	37,420	25,000	
	内訳	森林・環境税	24,210	35,036	34,920	25,000	
		(うち前年度繰越分)	0	0	8,000	0	
		他(国庫補助金等)	3,402	5,432	2,500	0	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額	25,000千円		☐	妥当である	
		考え方	事業全体のコスト			☐	概ね妥当である	
		指標名				☐	あまり妥当でない	
		考え方				☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	実施箇所数	8施設		☐	成果が高い	
		考え方	施設整備及び既存施設改修実施箇所数			☐	概ね成果が高い	
		指標名				☐	あまり成果がない	
		考え方				☐	成果がない	

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目:整備後の施設の状況、事業主体や地域住民の評価 ②検証方法:アンケートによる ③検証対象地:1事業実施箇所につき1団体以上 ④検証頻度:整備後の1回(翌年度5月)	
⑧効果検証	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	林政部
担当課・係名	森林活用推進課・森林サービス産業推進係

1 事業概要

①概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	森林部門					
	事業名	7 森林空間活用促進事業(③森林空間を活用した活動の普及促進)					
	事業概要	森林空間を活用した活動の普及促進					
	事業開始年度	令和4年度					
②事業目的	・森林空間活用の推進母体となる「ぎふ森のある暮らし推進協議会」を設立し、企業・団体等の様々な知見を活用し、多様な主体との連携により森林空間の活用を促進する。						

③事業内容	○普及促進 森林空間の活用を促進するため、企業や団体等に向けたセミナーの開催や先進事例調査を実施						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
	計画	(協議会会員数(者)累計) 100 者	60	70	80	90	100
	実績	152 者	142	152	164		
⑤事業費	事業費(千円)		2,489	1,070	1,000	2,578	
	内訳	森林・環境税	2,489	1,070	1,000	2,578	
		(うち前年度繰越分)	0	0	0	0	
		他(国庫補助金等)	0	0	0	0	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分	理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	事業費	2,578千円		☐ 妥当である	
		考え方	事業全体のコスト			☐ 概ね妥当である	
		指標名				☐ あまり妥当でない	
		考え方				☐ 妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	(仮称)森林サービス産業推進協議会会員数(者)累計	90者		☐ 成果が高い	
		考え方	新たに設置する協議会に入会した企業等の数			☐ 概ね成果が高い	
		指標名				☐ あまり成果がない	
		考え方				☐ 成果がない	

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目:セミナー、人材育成等に参加した企業・団体等の声、活動状況等 ②検証方法:アンケートによる ③検証対象:企業・団体等 ④検証頻度:1回(翌年度5月)	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	農政部
担当課・係名	農村振興課・鳥獣害対策係

1 事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー
	部門	環境部門
	事業名	8 野生鳥獣個体数管理事業(①ニホンジカの個体数管理を目的とした捕獲等)
	事業概要	ニホンジカの個体数管理を目的とした捕獲に係る支援
事業開始年度	平成24年度	
② 事業目的	・個体数管理を目的としたニホンジカの捕獲実施により、農林業や生活環境、生態系等への被害軽減を図る。	

③ 事業内容	〇市町村等が行うニホンジカ捕獲への支援、集落ぐるみによる捕獲の体制づくりの支援、県が主体となった広域捕獲 1 市町村が作成する事業計画に基づく捕獲に対する支援 補助対象：市町村、地域協議会、農業協同組合、森林組合、農業共済組合、漁業協同組合等 ①ニホンジカの個体数調整捕獲に対する助成（捕獲報償費 15千円/頭＋特別区域20千円/頭、捕獲に必要な物品購入費 200千円以内） ②わな捕獲を中心とした捕獲体制の整備に対する助成 （地域住民が主体的にわな捕獲を行う体制を構築するために必要な経費 1,000千円/地区以内） 2 わなによる捕獲技術の向上に係る研修会の開催(委託) 3 県が主体となったニホンジカの捕獲(委託) 4 被害防止捕獲等に従事する市町村等職員の育成に対する助成 （銃猟免許の新規取得・猟銃の所持許可・銃器等の購入に係る経費 上限500,000円/人）						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
	④ 目標	計画 (ニホンジカの捕獲数) 35,000 頭	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
		実績 20,205 頭	6,300	6,699	7,206		
⑤ 事業費	事業費(千円)		102,557	111,445	119,912	134,401	
	内訳	森林・環境税	100,807	105,440	110,914	121,141	
		(うち前年度繰越分)	0	0	0	0	
	他(国庫補助金等)	1,750	6,005	8,998	13,260		

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	事業費	121,141千円		☐	妥当である	
		考え方	事業全体のコスト			☐	概ね妥当である	
		指標名				☐	あまり妥当でない	
		考え方				☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	捕獲数(個体数調整捕獲事業・指定管理鳥獣捕獲等事業)	7,000頭		☐	成果が高い	
		考え方	どれだけ捕獲したか			☐	概ね成果が高い	
		指標名				☐	あまり成果がない	
考え方			☐			成果がない		

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目：捕獲数、野生鳥獣による農作物被害額 ②検証方法：市町村からの報告による ③検証対象地：事業を実施した全ての市町村 ④検証頻度：1回 ⑤開始時期：令和5年度	
	【検証結果】	

(4)自己評価（総合） ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる ☐ 概ね評価できる ☐ あまり評価できない ☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	農政部
担当課・係名	農村振興課・鳥獣害対策係

1 事業概要

①概要等	実施事業年度	令和7年度						
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー						
	部門	環境部門						
	事業名	8 野生鳥獣個体数管理事業(②ニホンザルの個体数管理を目的とした捕獲)						
	事業概要	ニホンザルの個体数管理を目的とした捕獲に係る支援						
	事業開始年度	令和6年度						
②事業目的	・個体数管理を目的としたニホンザルの捕獲実施により、農林業や生活環境への被害軽減を図る。							
	③事業内容	1 事業内容 市町村が実施するニホンザルの個体数調整捕獲に対する支援						
		2 補助率等 (1)捕獲報償費 15千円／頭 (2)捕獲に必要な物品購入費 200千円以内						
	④目標		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
		計画	(ニホンザルの捕獲数) 1,014 頭			324	345	345
		実績	334 頭			334		
	⑤事業費	事業費(千円)				6,053	6,375	
		内訳	森林・環境税			6,051	6,375	
			(うち前年度繰越分)			0	0	
			他(国庫補助金等)			2	0	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	事業費	6,375千円		☐	妥当である	
		考え方	事業全体のコスト			☐	概ね妥当である	
		指標名				☐	あまり妥当でない	
		考え方				☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	捕獲数	345頭		☐	成果が高い	
		考え方	どれだけ捕獲したか			☐	概ね成果が高い	
		指標名				☐	あまり成果がない	
考え方			☐			成果がない		

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目: 捕獲数、野生鳥獣による農作物被害額 ②検証方法: 市町村からの報告による ③検証対象地: 事業を実施した全ての市町村 ④検証頻度: 1回 ⑤開始時期: 令和6年度	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	農政部
担当課・係名	農村振興課・鳥獣害対策係

1 事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	環境部門					
	事業名	8 野生鳥獣個体数管理事業（③カワウ、カワアイサ及びサギ類の個体数管理を目的とした捕獲）					
	事業概要	カワウ等の捕獲等による被害対策活動に対する支援					
② 事業目的	・「岐阜県カワウ管理・被害対策指針」に基づき、アユ漁場に飛来する「被害を与えるカワウ」が生息するコロニーやねぐら、飛来地の管理を行い、漁業被害の軽減及び環境被害の防止を図る。						
③ 事業内容	1 事業内容 漁業協同組合等が行うカワウ、カワアイサ及びサギ類の捕獲及び追い払い等に必要な経費を補助する。 2 補助率等 （1）補助率 10／10以内で予算の範囲内の額 （2）補助限度額 1, 800千円／団体						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
④ 目標	計画	5,000 羽	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	実績	3,124 羽	727	1,072	1,325		
⑤ 事業費	事業費（千円）		21,856	21,470	25,981	27,170	
	内訳	森林・環境税	20,208	20,194	24,311	24,700	
		（うち前年度繰越分）	0	0	0	0	
		他（国庫補助金等）	1,648	1,276	1,670	2,470	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額	24,700千円		☐	妥当である	
		考え方	事業がどれだけ実施されたか			☐	概ね妥当である	
		指標名				☐	あまり妥当でない	
		考え方				☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	カワウ等捕獲羽数	1,000羽		☐	成果が高い	
		考え方	どれだけカワウ等を捕獲したか			☐	概ね成果が高い	
		指標名				☐	あまり成果がない	
考え方					☐	成果がない		

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目: 各漁協組合員の声、活動状況 ②検証方法: 各漁協等からの報告、聞き取りによる ③検証対象地: 事業実施主体管内 ④検証頻度: 1回	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	環境生活部
担当課・係名	環境生活政策課・生物多様性係

1 事業概要

①概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	環境部門					
	事業名	8 野生鳥獣個体数管理事業(④大学等と連携して行う野生動物管理に関する調査研究等)					
	事業概要	岐阜県の野生動物管理に関する調査研究、政策提案及び人材育成					
	事業開始年度	平成24年度					
②事業目的	・平成24年に野生動物被害防止対策に係る寄附研究部門を岐阜大学に設け、官学が連携し野生動物の調査研究や人材育成に取り組んできたが、野生動物による被害防止対策の一層の強化を図るため、岐阜県と岐阜大学が共同で、実践的な野生動物管理を行うシンクタンクとしての役割を担う「岐阜県野生動物管理推進センター」を新たに設置する。 ・当センターでは、AI、ICT技術などの研究や、県とともに野生動物の生息状況のモニタリング調査を実施し、その調査結果をもとに市町村が実施する鳥獣害対策への助言・支援や、農林業従事者、県民を対象とした研修・講座の実施など、野生動物を科学的かつ積極的に管理していく「戦略的被害対策」を推進する。						
③事業内容	①野生動物の生息状況調査・研究 ・野生動物広域カメラモニタリング調査・研究、ニホンザルの行動追跡、ニホンジカ等の高山帯への侵入状況の調査 等 ②野生動物管理に対する技術指導 ・市町村等に対する効果的な捕獲手法・効果検証の指導 等 ③人材育成・教育支援 ・鳥獣関係行政担当者向け研修会の実施、農林高校・森林文化アカデミー等の教育支援 等 ④普及啓発 ・連続講座のオンライン開催、シンポジウム等による野生動物管理の重要性等の普及啓発 等						
④目標		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
	計画	(市町村等への技術指導) 50 件	10	10	10	10	10
	実績	31 件	10	11	10		
⑤事業費	事業費(千円)		20,157	20,192	31,000	51,500	
	内訳	森林・環境税	20,157	20,192	31,000	51,500	
		(うち前年度繰越分)	0	0	0	0	
		他(国庫補助金等)	0	0	0	0	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	野生動物管理のためのシンクタンク機関の運営費	51,500千円/年		☐ 妥当である ☐ 概ね妥当である ☐ あまり妥当でない ☐ 妥当でない		
		考え方	事業全体のコスト					
		指標名						
		考え方						
	Ⅱ 事業結果	指標名	市町村等への技術指導件数	10件/年		☐ 成果が高い ☐ 概ね成果が高い ☐ あまり成果がない ☐ 成果がない		
		考え方	市町村等への知見・技術等の地域貢献					
		指標名	野生動物管理に関する調査・研究成果の発表件数	15件/年				
		考え方	調査・研究成果の発信					

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧ 効果 検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 検証項目 : 技術指導件数と指導の内容 検証方法 : 岐阜県野生動物管理推進センターからの活動実績報告による 検証対象地: 全ての技術指導実施場所 検証頻度 : 年1回	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	県土整備部
担当課・係名	河川課・維持係

1 事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	環境部門					
	事業名	9 自然生態系保全・再生事業（①上下流域が連携した河川清掃活動の実施）					
	事業概要	上下流域が連携した河川清掃活動への支援					
	事業開始年度	平成24年度					
② 事業目的	・第2期までに連携を図ったNPO法人や地域住民等民間団体と県とが協働し、流域全体を対象とした河川清掃活動に連帯して取り組むことにより、効率的な河川清掃モデルの確立と流域住民の河川環境及び水環境の保全に対する意識啓発を図る。						
③ 事業内容	・県内5流域において、NPO、地域住民等民間団体と行政とが連携し、ゴミの集積しやすい場所や樹木が繁茂している場所を洗い出し、集中的に清掃・整備を行い、流域が一体となった効率的な河川清掃モデルを確立し継続を図るため、県管理河川の河道内樹木の伐採・除去や、不法投棄廃棄物等の回収を行う。						
④ 目標		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
	計画	延べ100 河川	20	20	20	20	20
	実績	92 河川	31	34	27		
⑤ 事業費	事業費（千円）		29,995	29,994	30,000	30,000	
	内訳	森林・環境税	29,995	29,994	30,000	30,000	
		（うち前年度繰越分）	0	0	0	0	
		他（国庫補助金等）	0	0	0	0	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	事業費	30,000千円		☐	妥当である	
		考え方	河川清掃活動の実施費用			☐	概ね妥当である	
		指標名				☐	あまり妥当でない	
		考え方				☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	実施河川数	20河川		☐	成果が高い	
		考え方	連携して河川清掃を実施した河川数			☐	概ね成果が高い	
		指標名				☐	あまり成果がない	
		考え方				☐	成果がない	

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目:回収した樹木や廃棄物の量 ②検証方法:各土木事務所からの実績報告による ③検証対象地:実施した回収作業すべて ④検証頻度:1回 ⑤開始時期:活動実施年度末	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	県土整備部
担当課・係名	河川課・維持係

1 事業概要

①概要等	実施事業年度	令和7年度
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー
	部門	環境部門
	事業名	9 自然生態系保全・再生事業(②河川魚道の改修及び適切な維持管理)
	事業概要	県管理河川に設置された魚道の適切な維持管理の実施
事業開始年度	平成24年度	
②事業目的	・県は、長良川をはじめとした主要な河川で「魚がのぼりやすい川づくり」を推進し、魚道整備等によって魚類等の遡上・降下環境の改善対策を実施。 ・引き続き、整備した魚道の状態の把握と適切な維持管理によって、河川の連続性の確保を図り、魚がすみやすい環境の創出を図る。	

③事業内容	・県管理河川及び砂防施設に設置されている魚道672箇所を対象に、県民協働で年1回程度点検を行い、魚道の状態を把握する。点検を効果的・効率的に行うため、点検の際には、岐阜県自然共生工法研究会(魚道研究専門ワーキンググループ)と連携して作成した、魚道の機能を簡便に評価できる「清流の国ぎふ・魚道カルテ」を用いる。 ・点検を踏まえて、魚道としての機能が低下していると判断された箇所については、魚道内の堆積土砂の除去等を実施し、魚道の機能回復を図る。						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
④目標	計画	(健全な魚道の割合) 80 %	80	80	80	80	80
	実績	87.5 %	86.8	87.5	80		
⑤事業費	事業費(千円)		44,983	19,983	45,000	70,000	
	内訳	森林・環境税	44,983	19,983	45,000	70,000	
		(うち前年度繰越分)	0	0	25,000	25,000	
		他(国庫補助金等)	0	0	0	0	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分		指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	事業費		45,000千円		☐ 妥当である ☐ 概ね妥当である ☐ あまり妥当でない ☐ 妥当でない		
		考え方	魚道の適正な維持管理費用						
		指標名							
		考え方							
	Ⅱ 事業結果	指標名	健全な魚道の割合		80%		☐ 成果が高い ☐ 概ね成果が高い ☐ あまり成果がない ☐ 成果がない		
		考え方	点検により健全と判断された魚道数						
		指標名							
		考え方							

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目: 魚類遡上調査 ②検証方法: 機能回復を実施した魚道における遡上可能魚類数の計測 ③検証対象地: 県管理河川および砂防施設に設置された魚道 ④検証頻度: 年1回程度 ⑤開始時期: 事業実施年度～翌年度	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度

清流の国ぎふ森林・環境基金事業

評価シート

担当部局名	農政部
担当課・係名	農村振興課・農村支援係 農地整備課・総合整備係

1

事業概要

①概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	環境部門					
	事業名	9 自然生態系保全・再生事業(③水田魚道の設置等による水みちの連続性確保及び効果検証)					
	事業概要	水田及び農業用排水路内の生態系回復と、環境改善の普及促進					
②事業目的	事業開始年度	平成24年度					
	・面的な広がりを持った水みちの連続性を確保し、河川や農地に生息する魚類の繁殖や生息空間を再生するとともに、地域住民や農業従事者等に対し、生態系回復の成果を基にした普及啓発活動を展開する。						

③事業内容	①事前調査:事業予定箇所の魚類生息調査 ⇒ 事業主体:県(水産研究所) ②水田魚道の設置⇒ 事業主体:県(農村振興課)*一般県民と協働で設置 ③農業用排水路や河川の落差解消工事に係る補助(農地整備課) ⇒・事業主体:市町村、土地改良区等 ・補助率:10/10、上限5,000千円 ④事後調査:事業箇所の魚類生息調査 ⇒ 事業主体:県(水産研究所) ⑤環境学習会の開催等による普及啓発 ⇒ 事業主体:県(農村振興課・水産研究所)						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
	④目標	計画	20 地区	4	4	4	4
	実績	19 地区	6	7	6		
⑤事業費	事業費(千円)		3,298	3,607	3,749	7,000	
	内訳	森林・環境税	3,298	3,607	3,749	7,000	
		(うち前年度繰越分)	0	0	0	0	
		他(国庫補助金等)	0	0	0	0	

2

自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分	理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	ハード整備事業費	3,000千円		☐ 妥当である	
		考え方	水田魚道設置、落差解消事業費			☐ 概ね妥当である	
		指標名	ソフト対策事業費	4,000千円		☐ あまり妥当でない	
		考え方	効果検証、事業普及啓発事業費			☐ 妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	ハード整備に取り組む地区数	1地区		☐ 成果が高い	
		考え方	水田魚道設置または落差解消地区数			☐ 概ね成果が高い	
		指標名	ソフト対策に取り組む地区数	3地区		☐ あまり成果がない	
		考え方	住民協働による普及啓発活動の実施地区数			☐ 成果がない	

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目:ア)水田内の魚類調査、イ)落差解消路線における魚類数 ②検証方法:ア)中干による調査 イ)農業用排水路調査 ③検証対象地:ア)水田魚道の設置地区、イ)落差解消された農業用排水路 ④検証頻度:年1回 ⑤開始時期:事業実施年度～翌年度	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3

第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	環境生活部
担当課・係名	環境生活政策課・生物多様性係

1 事業概要

①概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	環境部門					
	事業名	9 自然生態系保全・再生事業(④生物多様性の保全・再生の普及啓発)					
	事業概要	シンポジウムの開催等による生物多様性の保全・再生の普及啓発					
	事業開始年度	平成24年度					
②事業目的	・県民、企業、市町村、民間団体等の各主体が、それぞれの立場で生物多様性の保全について考え、行動に取り組む契機として、生物多様性シンポジウムを開催する。シンポジウムの開催にあたっては、より多くの県民に参加いただけるよう、DX技術を活用したデジタル配信を実施する。 ・民間や県が取り組む希少野生生物等の保護活動を教材とする出前講座、体験学習等により県民の学習の機会を提供する。						
③事業内容	①生物多様性に関するシンポジウム等の開催 ②生物多様性に関する専門家講座の実施 ③絶滅危惧種の保全実施とそれを活用した子どもたちの保全体験 ④生物多様性に関する取組み情報等の配信						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
	計画	(シンポジウム等の開催) 70 回	14	14	14	14	14
④目標	実績	74 回	28	32	14		
⑤事業費	事業費(千円)		1,000	961	2,000	1,500	
	内訳	森林・環境税	1,000	961	2,000	1,500	
		(うち前年度繰越分)	0	0	0	0	
		他(国庫補助金等)	0	0	0	0	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	生物多様性普及啓発に関する事業費	334千円		☐	妥当である	
		考え方	事業費のコスト			☐	概ね妥当である	
		指標名	希少種保全・体験等に関する事業費	1,166千円		☐	あまり妥当でない	
		考え方	事業費のコスト			☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	シンポジウム等実施回数	7回		☐	成果が高い	
		考え方	普及啓発等活動数			☐	概ね成果が高い	
		指標名	希少種の保全体験等実施回数	7回		☐	あまり成果がない	
		考え方	保全体験等活動数			☐	成果がない	

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 検証項目 : 生物多様性や希少種保全に関する理解度 検証方法 : 参加者へのアンケート調査による 検証対象地: 普及啓発活動等の実施場所 検証頻度 : 年1回	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度

清流の国ぎふ森林・環境基金事業

評価シート

担当部局名	環境生活部、農政部
担当課・係名	環境生活政策課・生物多様性係 農村振興課・農村支援係

1 事業概要

①概要等	実施事業年度	令和7年度						
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー						
	部門	環境部門						
	事業名	9 自然生態系保全・再生事業(⑤生態系保全・再生に係る活動支援)						
	事業概要	生態系保全活動の実施への支援						
事業開始年度	団体支援、市町村支援(農務部門):平成24年度							
	市町村支援(環境部門):令和3年度							
②事業目的	・団体等や、市町村がおこなう里地里川の生態系保全の取り組みを支援することにより、県内の里地里川における生態系保全につなげる。							
	・貴重な自然環境の保全や特定外来生物の防除など、市町村が地域住民との協働で取り組む活動を支援し、地域の生態系の保全と再生を図る。							
③事業内容	ア【生態系保全団体支援事業】 生態系に配慮した農業用水路の整備、水田や用排水路等を活用した環境教育の実施など、里地里川の生態系を復活するモデル的取り組みへの支援 ・補助先:特定非営利活動法人、地域団体等 ・補助率:10/10(上限2,000千円/1団体) ・実施方法:公募により選定 ・公募による選定会議の費用含む。(200千円) イ【生態系保全市町村支援事業(農務部門)】 用排水路におけるスクミリンゴガイの駆除など、農地・農業用施設を対象とする生態系保全に取り組む市町村を支援 ・補助先:市町村 ・補助率:1/2(上限1,000千円/1市町村) ウ【生態系保全市町村支援事業(環境部門)】 貴重な自然環境の保全や特定外来生物の駆除など、農地・農業用施設以外を対象とする生態系保全に地域住民と協働で取り組む市町村を支援 ・補助先:市町村 ・補助率:1/2(上限500千円、下限500千円/1市町村)							
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8	
	計画	(団体・市町村支援数) 120 件	24	24	24	24	24	
	実績	61 件	21	20	20			
	事業費(千円)		29,720	28,489	68,511	26,000		
⑤事業費	内訳	森林・環境税	29,720	28,489	32,660	26,000		
		(うち前年度繰越分)	0	0	0	0		
		他(国庫補助金等)	0	0	35,851	0		

2 自己評価

(1)実績検証 (繰越分を除く。)

⑥ 実績 検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	ア)補助金額	9,800千円		☐	妥当である 概ね妥当である あまり妥当でない 妥当でない	
		考え方	事業を実施する団体への補助金額					
		指標名	イ)補助金額	9,000千円				
		考え方	市町村(農務部門)への補助金額					
		指標名	ウ)補助金額	6,950千円				
		考え方	市町村(環境部門)への補助金額					
	Ⅱ 事業結果	指標名	ア)実施団体数	7団体		☐	成果が高い 概ね成果が高い あまり成果がない 成果がない	
		考え方	生態系保全活動を実施する団体数					
		指標名	イ)実施市町村数	8市町村				
		考え方	事業を実施する市町村(農業用地)数					
		指標名	ウ)実施市町村数	9市町村				
		考え方	事業を実施する市町村(農業用地外)数					

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ア【生態系保全団体支援事業】 実施方法等 ①検証項目:各団体の活動継続状況 ②検証方法:各団体からの活動実績報告(完了後3年間) ③検証対象:全ての補助金交付団体 ④検証頻度:年1回(3年間)	イ【生態系保全市町村支援事業(農務部門)】 実施方法等 ①検証項目:スクミリンゴガイ、ヒシ等の発生状況 ②検証方法:市町村からの発生状況報告 ③検証対象地:補助市町村(定点調査(1路線)) ④検証頻度:1回(翌年度)
	ウ【生態系保全市町村支援事業(環境部門)】 実施方法等 ①検証項目:生態系保全に協働で取り組んだ地域住民の意識 ②検証方法:市町村からの参加住民アンケートの実施報告 ③検証対象:補助市町村(参加住民) ④検証頻度:年1回	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	環境生活部、農政部
担当課・係名	環境生活政策課・環境教育係 脱炭素社会推進課・温暖化 気候変動対策係 農地整備課・水利・小水力係

1 事業概要

①概要等	実施事業年度	令和7年度				
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー				
	部門	環境部門				
	事業名	10 脱炭素社会ぎふづくり事業(①脱炭素社会ぎふを支える人づくり)				
	事業概要	「脱炭素社会ぎふ」実現に向けた行動変容を実践する人づくり事業の実施				
事業開始年度	令和4年度					
②事業目的	・「脱炭素社会ぎふ」の実現を支える人づくりを進めるため、カーボン・オフセットや地球温暖化、環境負荷の軽減、自然環境の保全、生物多様性などの環境問題について、県民が自らの問題として考え、行動変容の実践につながるよう、理解促進のための啓発活動や、自然環境体験・環境学習などの実体験・学びの場での活動等の事業を実施する。					

③事業内容	⑦脱炭素社会ぎふを支える人づくり推進事業 ・「森・里・川・海」自然体験交流プログラムや環境問題の体験と行動変容促進のためのプログラムの実施 ④カーボン・オフセットに係る理解促進及び人材育成事業 ・カーボン・オフセット及びJクレジットセミナーの開催、ぎふエコアクション学生アンバサダーの育成及び活用 ⑤次代の環境活動を担う人材育成支援事業 ・市町村が自ら企画・立案・実行する次代の環境活動を担う人材育成事業への支援 ⑥地域団体等が行う小水力発電施設を活用した環境教育推進事業 ・農業水利施設や水路等に設置した小水力発電施設を活用した環境学習を実施する団体を支援						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
	④目標	計画 (体験プログラム等参加者数)	500	500	500	500	500
		実績	1,211 人	290	408	513	
	⑤事業費	事業費(千円)	25,259	18,502	18,340	20,000	
内訳		森林・環境税	17,854	18,041	17,801	20,000	
		(うち前年度繰越分)	0	0	0	0	
		他(国庫補助金等)	7,405	461	539	0	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	事業費	10,244千円		☐	妥当である	
		考え方	県実施事業(⑦、⑧)のコスト			☐	概ね妥当である	
		指標名	補助金額	9,500千円		☐	あまり妥当でない	
		考え方	市町村(⑨)・地域団体等(⑩)の活動に対する補助金額			☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	参加者数	500人		☐	成果が高い	
		考え方	体験プログラム等への参加者数			☐	概ね成果が高い	
		指標名	実施事業件数	4件		☐	あまり成果がない	
		考え方	市町村による人づくり活動が実施された件数			☐	成果がない	

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧ 効果 検証	実施の有無	有		
	【実施方法等】			
	＜⑦脱炭素社会ぎふを支える人づくり推進事業、 ④カーボン・オフセットに係る理解促進及び人材育成事業＞		＜⑤次代の環境活動を担う人材育成支援事業、 ①地域団体等が行う小水力発電施設を活用した環境教育推進事業＞	
	①検証項目:参加者数、参加前後における参加者の理解・関心、環境保全意識の向上		①検証項目:各採択事業で設定された目標数値に対する達成状況、参加者数	
	②検証方法:アンケートによる		②検証方法:事業実施主体からの実績報告書による	
	③検証対象地:全ての実施事業		③検証対象地:全ての採択事業	
	④検証頻度:事業実施の都度		④検証頻度:年1回	
	【検証結果】			

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	環境生活部
担当課・係名	廃棄物対策課・一般廃棄物係

1 事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度						
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー						
	部門	環境部門						
	事業名	10 脱炭素社会ぎふづくり事業(②地域循環共生圏構想の促進)						
	事業概要	地域循環共生圏構想につながる活動に対する支援						
事業開始年度	令和4年度							
② 事業目的	・森林・河川など地域が有する「自然資源」、食糧生産・酸素供給などの生物多様性がもたらす恵みである「生態系サービス」、「資金・人材」などを活かして、自立・分散型の社会を形成しながらも、地域の特性に応じて地域資源を補完し支えあう「地域循環共生圏構想」について、市町村、団体・企業等が構想を推進するための支援を行う。							
③ 事業内容	地域循環共生圏促進事業費補助金 事業主体自らが計画から実行まで行う、地域循環共生圏構想の推進につながる活動(構想を知り広めるためのシンポジウム開催、関係する主体を増やしネットワークを構築するための事業、戦略を立てるための事業計画等の作成など)に対して支援 ・補助先:市町村、法人、団体等 ・補助率:補助対象経費の10/10(上限:1,000千円、下限:300千円) ・実施方法:公募により選定							
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8	
	④ 目標	計画	(地域循環共生圏づくりプラットフォーム登録団体数) 15 件	5	5	5		
		実績	4 件	0	0	4		
	⑤ 事業費	事業費(千円)		1,340	2,387	3,682		
内訳		森林・環境税	1,340	2,387	2,549			
		(うち前年度繰越分)	0	0	0			
		他(国庫補助金等)	0	0	1,133			

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥実績検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額	-		☐	妥当である	
		考え方	地域循環共生圏構想につながる活動への補助金額			☐	概ね妥当である	
		指標名				☐	あまり妥当でない	
		考え方				☐	妥当でない	
	Ⅱ 事業結果	指標名	地域循環共生圏づくりプラットフォーム登録団体数	-		☐	成果が高い	
		考え方	構想の実現に向けて取り組んだ地域数			☐	概ね成果が高い	
		指標名				☐	あまり成果がない	
考え方			☐			成果がない		

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目:各採択事業で設定された目標数値に対する達成状況 ②検証方法:事業実施主体からの実績報告書による ③検証対象地:全ての採択事業 ④検証頻度:年1回	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見

令和7年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

担当部局名	環境生活部、林政部
担当課・係名	環境生活政策課・環境教育係 森林活用推進課・森林活用係

1 事業概要

① 概要等	実施事業年度	令和7年度					
	計画・評価年月日	令和6年12月24日 ・ ー					
	部門	共通部門					
	事業名	11 清流の国ぎふ地域活動促進事業					
	事業概要	各種団体等が行う森づくり・川づくり活動等に対する助成					
事業開始年度	平成24年度						
② 事業目的	・県内の法人、団体が主体となって自ら企画・立案・実行する創意工夫ある森づくりや川づくり及び水環境等の保全活動を支援する。						
③ 事業内容	(1)県民参画を促進する森づくり・川づくりの活動、(2)水環境や生物多様性の保全を目指す活動、(3)子どもたちのための森づくり・川づくりの活動、(4)上記(1)～(3)の活動のうち、特に対策が必要である課題に対してモデル的に行われる活動 ・補助先:団体、法人 ・補助率(1)～(3):補助対象経費500千円以下:10/10以内、補助対象経費500千円を超える分:1/2以内 （補助金上限2,000千円/事業、下限300千円/事業） ・補助率(4):補助対象経費1,000千円以下:10/10以内、補助対象経費1,000千円を超える分:1/2以内 （補助金上限2,250千円/事業、下限300千円/事業）						
		5年間の目標値	R4	R5	R6(見込み)	R7	R8
④ 目標	計画	250 件	50	50	50	50	50
	実績	158 件	52	53	53		
⑤ 事業費	事業費(千円)		49,196	43,413	43,748	30,000	
	内訳	森林・環境税	26,802	26,091	27,651	30,000	
		(うち前年度繰越分)	0	0	0	0	
		他(国庫補助金等)	22,394	17,322	16,097	0	

2 自己評価

(1)実績検証（繰越分を除く。）

⑥ 実績 検証	指標区分	指標名・考え方		計画値	実績値	評価区分		理由
	Ⅰ 事業投資	指標名	補助金額	2,960千円		☐	妥当である	
		考え方	森・川づくり活動等を行う団体等への補助金額			☐	概ね妥当である	
		指標名			☐	あまり妥当でない		
		考え方			☐	妥当でない		
	Ⅱ 事業結果	指標名	実施事業件数	50件		☐	成果が高い	
		考え方	県民参加による、森・川づくり活動の件数			☐	概ね成果が高い	
		指標名			☐	あまり成果がない		
考え方			☐		成果がない			

(2)実施状況写真

⑦実施状況写真	
---------	--

(3)効果検証

⑧効果検証	実施の有無	有
	【実施方法等】 ①検証項目:活動参加者数 ②検証方法:事業主体からの実績報告による ③検証対象:全事業 ④検証頻度:1回 ⑤開始時期:令和5年度	
	【検証結果】	

(4)自己評価(総合) ※担当課所属長記入

⑨自己評価	総合評価	理由
	☐ 高く評価できる	
	☐ 概ね評価できる	
	☐ あまり評価できない	
	☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑩第三者評価	清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会意見
--------	------------------------